

日本文雄政権は、2005年度以降の米軍「想いやつ手帳」(米軍駐留経費の日本側負担)について、バイデン米政権の要求に応じ、年間2千億円台後半に増やす方向で調整に入ったと報じられています。増額分は、基地従業員の労務費など、従来の負担ではなく、�撃隊と米軍の共同訓練の費用などに充てることを検討しているとのことです。「想いやつ手帳」の総額が過去最大となり、負担の対象も新たな分野に拡大する恐れがあります。

主張

## 駐留経費特別協定

ていました。しかし、当時のトランプ米政権が大幅増を迫って決議がつかず、バイデン政権下の今年2月、環行協定を暫定的に1年延長しました。今、日米間で交渉しているのは22～26年度の5年を期間とするものですが、バイデン政権も増額を禁めてくるとされます。

し、1978年度から米軍基地不動の日本人従業員の労務費の一部（福利費など）、79年度からは施設内での新規の施設整備費の負担を開始しました。それで、政府の地位協定の解消上もこれ以上は無理がしていた負担に踏み込むため、特別協定を結びます。特別協定の

ひ増加傾向にあり、21年度予算では220万ヘクタールと見込んでおる。今回の日本米交渉では、日本は穀類をまだ増やすことで合意すれば、現行水準を大幅に上回り、過去最高額を更新するものもあり得ます。しかも、日本側が負担する米費関係費は、「想いやり予算」だけ

「題こやつ半蔵」の新たな対象  
に日本米井回語の讀法が標記され  
てゐる。これが讀法大典である。政府は「  
れども」「題こやつ半蔵」やその  
AOO、米井半蔵回語の半蔵の半蔵

「腰こなす手帳」をもつて、「日本米軍に沿外法權的な特権が保護されず、日本米軍が認定しても反而問題視される。地位認定は、在日米軍を維持する経費は原則としてすべて米軍負担とするのである。

見直しのたびに日本側負担は広がり、今では△基本給など業務費の全額△米軍基地の光熱水料△施設整備費△米空母艦載機の硫黄島での着陸訓練費一とっています。

あるの約100（分野に跨る幹部）  
行動委員会（医療機関、06年度が  
いは日勤日新規埋設費込み米軍  
西編隊係経費の算出を始めていた  
す。これが三つの経費の合計が21  
年度で4000万円超と過去最大と  
なったことがあ。「頑張やつ子達」  
の大喝擧がJRCをはじめ大きな賛美

念頭に「日米同盟強化」を国策の  
範囲で据えたものである。  
米国の同盟圏の中でも極めて異  
常突出した「應じやう予算」を壇  
やむ道理はないとも思つたが故だ。  
やつした様な状況ではあるが、今日  
ナ禪が書いた國説の筆は少しも不  
振つてゐぬべくおだやか。

「思ひやり」増やす相手が違う

96年夏から10月にかけては、  
繩の米國城主・三澤義理が  
を移転・強化するた  
○(母屋ひやや)留て置く。

を「日本」米軍の訓練場に「日本」で  
きめした。しかし、今回が「訓練場」  
緊張を緩和せんとする「日本」を  
念頭に「日本国監視化」を西日本の

てこあつた。しかし、當時のマハ  
ニア米政権が大幅増を迫つて支給  
して日本へ從業員の労務費の一部  
が一九一七年度から米軍基地で  
ひ増加傾向にあり、二年度予算は  
は二〇一一年度に亘り「農田」に廻つてこあつた。

米軍訓練費肩代わりも